

# にしじ

## 平成23年度 高知医療センターの 初期臨床研修医

のご紹介…… P4~P5

- 新任のご挨拶（地域医療連携室 室長 岡林 久子 看護部長）…………… P2
- 平成24年度初期臨床研修医募集要項 …………… P3
- 第38回高知医療センター職員による学会出張報告  
（第60回米国心臓学会（ACC） 循環器内科 尾原 義和 医師）…………… P6
- 地域医療連携病院のご紹介 Vol.62（医療法人薫風会 毛山病院）…………… P7
- ニュース Vol.22 …………… P7
- 高知医療センターイベント情報 …………… P8

# 6

JUNE.2011 Vol.68



平成23年度、高知医療センター初期研修医の9名です！ご紹介はP 4～5をご覧ください。

高知医療センターの基本理念  
 医療の主人公は患者さん  
 高知医療センターの基本目標

1. 医療の質の向上
2. 患者さんサービスの向上
3. 病院経営の効率化

# 新任のご挨拶

## 地域医療連携室 室長 岡林 久子 主任看護部長



### 一人ひとりの出会いを大切に。

春はどこの施設や部署も大きな異動があります。高知医療センターも新たな職員が仲間として加わり、目を輝かせながら研修を受けているいきいきとした横顔や、真剣に頑張っている姿をみかけると、自分も若さと元気をもらえるような気持ちになります。

私も本年度4月1日より、高知医療センター地域医療連携室、前大西信子室長の後任として配属となりました。まだ緊張の連続で業務も不慣れなため、毎日の出来事や地域医療連携室のシステムを理解することに時間を要する時も多々ありますが、一人ひとりの出会いを大切にしながら『私らしさ』が出せるよう、一つひとつ丁寧な関わりを心がけていきたいと思えます。そして、高知医療センターと地域医療機関が繋がりを深められるよう、地域連携に関連する学びを深めながら、努力を重ねていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

この4月26日からは、早速、循環器内科・科長の細木信吾医師らと共に、循環器関連の病院訪問を開始しており、すでに3回（病院・診療所）15ヵ所を訪問しました。病院訪問はとても緊張しますが、地域の先生方の生の声を伺うことができ、高知医療センターと地域連携に関する検討課題および改善すべき貴重なご意見もいただいております。また、地域医療センターのホームページを充実させ、地域医療機関に情報を発信しておりますが、病院訪問ではブログへの掲載にもご協力をいただくことで、リアルタイムに訪問先の病院紹介をするなど工夫し、お互いの立場を尊重した信頼関係も少しずつ築かれていますと感じております。是非『高知医療センターの広報ブログ』（<http://ameblo.jp/khsc-kouhou/>）にもアクセスしてご覧ください。まだ3日間だけの病院訪問ではあ

りますが、病院訪問を重ねるごとに顔の見える関係づくりを強化していくことが、紹介医の満足度の向上を図るためにも、とても重要であることを実感しております。5月後半からは、堀見忠司病院長、村田厚夫救命救急センター長、西岡豊地域医療センター長、事務局・経営企画課松本忠史課長と共に、県下6郡の病院理事会訪問に出る計画です。私にとっては初体験の連続ですが、こちらでの声もきちんと伺い、関連部門にも丁寧に返していきたいと思っております。

現在、地域医療連携室の前方では、3名が迅速丁寧な電話対応と心のこもった対応を心がけ、安心と信頼に繋げるよう力を注いでおります。また、後方のソーシャルワーカーも本年度より1名の新人が加わり、6名で退院および転院調整をするようになりました。今後は、患者さんやご家族が入院前の生活、あるいは在宅医療や療養生活が安心して継続できるように訪問看護師とのネットワークも広げていき、互いの強み・弱みも共有しながら地域医療連携の充実と質向上に繋げていきたいと考えます。

本年度も、地域医療機関のニーズに沿った研修会の開催を計画しておりますが、高知医療センターの職員と地域全体の医療従事者が、共に生涯学習や情報交換を通して、より良い医療が提供できるよう、一層努力していきたいと思っておりますので、皆さまの積極的な地域医療連携研修会へのご参加をよろしくお願い申し上げます。



西岡豊地域医療センター長（前列真ん中）、岡林室長（前列右から2番目）と地域医療連携室のスタッフ

# 平成24年度初期臨床研修医の募集要項

平成24年度高知医療センターの初期臨床研修プログラムについてご紹介いたします。

**募集人数**：13名、自治医科大学卒業者枠2名

**応募資格**：平成24年2月実施予定の医師国家試験合格見込みの者（マッチングに参加すること）

**選考方法**：面接（個別に20分程度）、書類審査

**選考日**：平成23年7月23日（土）、8月13日（土）、9月3日（土）

**提出書類**：履歴書（電話番号やメールなどの連絡先を必ず記入）、健康診断書（学校での検診結果の写し可）

**申込期限**：平成23年7月31日（日）HP、メール、郵送でのお申込みも受け付けています。  
HPよりお申込みの場合：<https://ss1.xrea.com/www2.khsc.or.jp/kenshui/mailto.htm>

**書類の提出先及び申込み、お問い合わせ先**：高知医療センター 事務局（担当：今津由佳）  
〒780-8555 高知県高知市池2125番地1 電話：088（837）6760 F A X：088（837）  
E-mail:yuka\_imadu@khsc.or.jp

**研修期間**：平成24年4月1日～平成26年3月31日までの2年間

**研修科**：内科（6ヶ月：循環器内科、消化器内科、呼吸器内科・アレルギー科、血液内科・輸血科、代謝・内分泌科、腫瘍内科、緩和ケア内科、腎臓内科・膠原病科のうち3診療科を選択し、各2ヶ月研修）、救命救急科（3ヶ月）、地域保健・医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科（各1ヶ月）、自由選択（9ヶ月）

**研修例**（選択必修科目で、麻酔科と小児科を選択した場合（※精神科1ヶ月は必修）

1年次												2年次											
第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8	第9	第10	第11	第12	第13	第14	第15	第16	第17	第18	第19	第20	第21	第22	第23	第24
ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク
ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル
内科						麻酔科		救命救急科		精神科	小児科		地域医療	自由選択									

**教育に関するオリエンテーション**：全ての研修医対象の研修開始時に行うオリエンテーション（3週間）

- ①高知大学医学部附属病院で高知県内共通オリエンテーション（BLS研修を含む）
- ②病院統合情報システム（電子カルテ）、診療情報管理、療養担当規則等についての院内オリエンテーション
- ③院内他職種との連携を深めるために、看護局実習、医療技術局（臨床検査）、薬剤局実習、栄養局実習のほか、ボランティア実習

**各研修会への参加**：研修プログラム委員会が開催する、あるいは指示する教育に関する行事への参加

- ①研修医セミナー（月1回）：研修医の希望を中心に企画・開催されています。これまでの内容「インスリンの種類と使用方法」「CVカテーテル挿入講習会」など
- ②院内CPC（月1回）：月1回、定期的に行われ、通常1～2例が検討されています。研修医は指導医の指導のもと、CPCの準備と発表を行います
- ③講習会、研究会等：院内外で行われる講習会、研修会へは積極的参加を推奨。とくに医療安全管理研修会（月1回）、災害訓練には原則として全員参加としています。その他、学会などの発表、接遇などについての研修、電子カルテの研修、診療情報管理、療養担当規則についての研修など

**病院見学**：随時受け付けています。お申込み、お問い合わせはメール：E-mail:yuka\_imadu@khsc.or.jp  
郵送（〒780-8555 高知県高知市池2125番地1）、もしくはHPから。

## 菅 健太郎 (すが けんたろう)



①医科 ②熊本県熊本市 ③高知大学 ④水泳  
⑤夢は諦めなければ逃げない

⑥私は熊本出身なので、高知に残るか熊本に帰るかとても悩みました。しかし大学 6 年間高知に住んでみて、この暖かい高知が大好きになり、高知で研修する道を選びました。どちらの道を選んでも、いいことも悪いこともあったと思います。けれど最後にそれを決めるのは、自分がどれだけ頑張れるかだと思うので、一生懸命頑張って、高知に残ってよかったと思える研修をしたいです。

⑦はじめまして。研修医の菅といいます。九州の熊本から 6 年前にやってきました。最初は初めての土地に不安でいっぱいでしたが、高知の人たちの暖かい心に触れているうちに、高知が大好きになりました。今は研修が始まり、まだまだ皆さまにご迷惑をかける毎日ですが、やる気だけはあるので、毎日色々なことを吸収して、一歩ずつ前に進んでいけたらと思います。よろしくお願ひします。

## 山本 慎平 (やまもと しんぺい)



①医科 ②高知県高知市 ③高知大学 ④テニス、素潜り  
⑤期待に応えて、予想を裏切る

⑥この医療センターで研修しようと思った理由は、県内で最先端の医療を学ぶことができると同時に、救命救急にも大変力を入れていて「全身を診ることのできる診断力」を養うことができると考えたからです。また、「医療の主人公は患者さん」という医療者として決して忘れてはならない理念のもとで成り立っていることにも非常に魅力を感じました。

⑦皆さま、はじめまして。山本慎平と申します。研修医が医師としてできることは微力かもしれませんが、皆さまが心も体も元気になれるよう精一杯努力してまいります。まずその第一歩として「挨拶」を徹底していきたいと思っております。明るさだけが取り柄のようなものなので、皆さまを少しでも元気にできれば幸いです。どうぞよろしくお願ひ致します。

- ①所属 ②出身地 ③出身大学 ④趣味 ⑤好きな言葉
- ⑥高知医療センターを初期研修の場所にした理由
- ⑦地域の皆さまへご挨拶



## 公文 恵美子 (くもん えみこ)



①医科 ②高知県香南市 ③高知大学 ④飲み会、旅行  
⑤意外に変なところでまじめ☆

⑥高知県内で研修を決めた時は正直どこにしようか、色々悩みました。でも高知県内にいながら県外の医局の先生や、大学とはまた違った環境で過ごされてきた先生のいい影響を受けることができる施設だと思って、医療センターに決めました。見学に来た時のコメディカルの方々の雰囲気の良いさも気に入った理由の一つです。

⑦高知県生まれの高知県育ち、都会が大好きだけど、それでも高知がもっと好きな公文恵美子です。頭も要領も悪いですが、一生懸命頑張ります！！医療センターでの研修を活かして、東西に広い高知県の医療を少しでも支えていける医師を目指しています。至らない点ばかりかとは思いますが、よろしくお願ひします。

## 浦口 健介 (うらぐち けんすけ)



①医科 ②高知県高知市 ③富山大学 ④武道  
⑤聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥

⑥私は高知県出身のため、将来、高知の医療に携わりたいと思い高知医療センターを選びました。高知医療センターは設備も充実しており「いざ！！」という緊急時にも自分でも地域の人達のために役に立てるという実感が持てる病院だと思いました。また、学生中に病院を見学した際に指導してくれた先生方がとても優しく丁寧に教えてくださったことや、職場の雰囲気がとても良かったのもこの病院を選んだきっかけでした。

⑦2年間、高知医療センターで研修医として働く事になりました。まだまだ慣れない毎日でもいつもあたふたしているかもしれませんが、気軽に話しかけてもらえると嬉しいです。病気の相談などもその場で即答！！というわけにはいかないかもしれませんが、上の先生に尋ねたり、自分で調べたりして患者さんに悩みに応えていきたいと思っています。この2年間で患者さんから様々な事を学び、有意義な研修期間にしようと思っっているのでもよろしくお願ひします。

## 濱田 史泰 (はまだ ふみひろ)



①医科 ②高知県香南市  
③高知大学 ④旅行  
⑤猪木の道

⑥医療センターは豊富な症例、手術件数があるので、自分の経験を積み、勉強させていただくには非常に適した

環境であると考えました。特に救急は大学では経験できないものだと思います。また自分は高知で生まれ育ち、高知で働き貢献したいという思いが強かったので、自分の考える研修病院として第1志望に選びました。

⑦まだまだ駆け出しで、ご迷惑をおかけし大変申し訳ありませんが、精一杯勉強して早く仕事を覚えていきたいと思っています。今後は、できるだけ早く高知県の医療を担い、貢献できるよう、さらに多くのことを学んでいきたいと考えておりますので、よろしくお願ひします。

## 北村 亘 (きたむら わたる)



①医科 ②高知県  
③自治医科大学  
④ハンドボール、旅行、ショッピング ⑤一期一会

⑥僕たち自治医大卒は、初期研修後に高知県の僻地で勤務します。このため、この二年間で様々な疾患を勉強し、どんな主訴の患者さんが来られても対応できる技術を身に付ける必要があります。この観点から考えて、高知医療センターは高知県の中でも大きな病院の一つであり、一般的な病気から特殊な病気までを勉強することができるので、初期研修の場所として選びました。

⑦はじめまして。この四月より、高知医療センターで初期研修をさせていただき、自治医大出身の北村亘と申します。まだまだ研修が始まってあまり日が経っておらず、右も左も分からない状態ですが、これから高知県の医療に少しでも貢献できるよう、まずは高知医療センターにいらっしゃる患者さんのために精一杯頑張っていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願ひ致します。

## 西本 隆史 (にしもと たかし)



①医科 ②高知県高知市  
③岡山大学 ④サッカー  
⑤為せば成る

⑥高知で生まれ育ち、高知を愛する者として、是非とも高知で研修をしたいとずっと考えていました。医療センターは、高知の医療の最後の砦として地域を支

えており、またここに携わる全てのスタッフの皆さまも信念を持って日々の診療にあたられ、同時に私たち新人に対する指導にも力を入れてくださっています。志を高く持って精進すれば必ず良い研修生活が送れると思ひ、研修先を選びました。

⑦初期研修医 1 年目の西本隆史と申します。今はまだ右も左もわからず、無力感いっぱいの日々を送っていますが、2年間一生懸命勉強して少しでも使えるように成長したいと思っております。そして将来は高知県の医療を支えていけるよう、これからも、研修終了後も頑張ります。よろしくお願ひします。

## 橋元 幸星 (はしもと こうせい)



①医科 ②高知県佐川町  
③自治医科大学  
④バスケットボール、スノーボード  
⑤There is nothing either good or bad, but thinking makes it so.  
⑥高知の医療の最後の砦と

しての高知医療センターは、一般的な病気から専門的な病気まで様々な病気を持った多くの患者さんがやってくる病院です。このような病院でたくさん症例を経験し、学ばせていただきたいと思ひました。

⑦将来は高知のへき地医療に貢献したいと思ひしています。その為にも 2 年間医療センターでしっかり働いていきたいと思ひしておりますので、皆さま、どうぞよろしくお願ひ致します。

## 池 美香 (いけ みか)



①歯科 ②高知県  
③長崎大学  
④旅行、料理、水泳  
⑤一期一会

⑥地元の医療に貢献しなかったというのはもちろんですが、その中でも医療センターは歯科に関連した包括的な全身管理についても

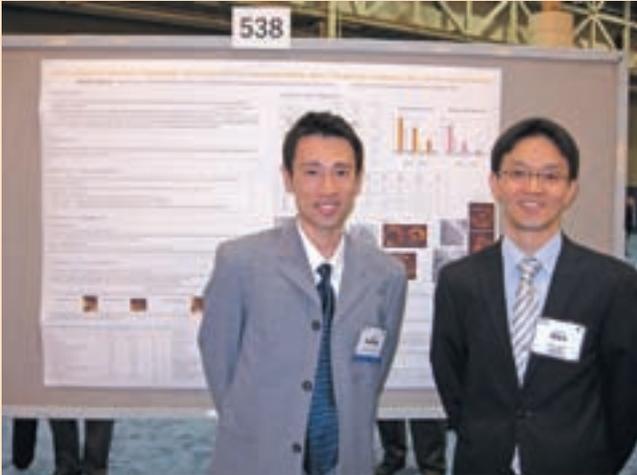
学べますし、先輩の先生方がとても親切で雰囲気がよかったです。是非医療センターで研修したいなと思ひました。  
⑦4 月より医療センターで研修させて頂いております。池と申します。私は、教育学部を卒業後、3 年次学士編入制度を経て長崎大学歯学部に入學し歯科医になりました。患者さんの話される土佐弁を聞くたび地元に戻ってきたんだなぁと実感しております。まだまだ新人ですが、いつか皆さまに選んでいただけるような歯科医になれるよう精進したいと思ひます。

## 第 38 回：医療センター職員による学会出張報告

高知医療センターの職員はいろいろな学会に参加しています。そのなかから、学会レポートをご紹介します。

### 第 60 回米国心臓学会 (ACC) ニューオリンズ in USA 2011.4.2 ~ 4.5

循環器内科 尾原 義和 医師



学会会場にて：尾原義和医師（右）

本年 4 月初旬、アメリカ・ニューオリンズで開催された第 60 回米国心臓学会 (ACC) に参加させていただきました。この学会は米国心臓協会 (AHA) 及び欧州心臓病学会 (ESC) と並び、臨床心臓病学の研究発表・教育の場として世界から注目されています。私も今回初めて ACC に参加できるとあって期待に胸をふくらませておりました。ただ皆さまもご存じの様に、本年 3 月中旬に発生しました東日本大震災の甚大な被害、また、福島原発の問題から一時は出張を取り止める事も検討しました。しかし、上司や同僚の先生方の後押しもあり、2泊4日という強行スケジュールではありますが参加することができました。実際の学会参加の日数が 1 日であることから、学会すべてを把握できた訳ではありませんが、様々な発表を聞いて勉強してきました。

Late-breaking Clinical Trials で発表されていたのが PARTNER 試験で、手術適応と判断された高リスクの重度症候性大動脈弁狭窄患者において、経カテーテル的大動脈弁留置術 (TAVI) の 1 年後の生存率は心臓外科手術 (大動脈弁置換術) と同等であったとの報告でした。この発表を受けて、TAVI が今後は外科手術高リスク患者に対する大動脈弁置換術の代替療法になり得ると結論づけられました。本邦では同治療が 2010 年に高度医療として承認され、国内でも数施設で施行されております。高知県は高齢化が進み、日常診療でも多くのご高齢の大動脈弁狭窄症の患者さんを診させていただく機会があります。その中でやはりご高齢であるために手術適応から外れたり、外科的治療に耐えられない体力の方も多くおられます。血管内治療に携わる循環器医が近い将来、このような治療を行うことができると強く感じました。

この発表の後に私のポスター発表の時間であったため、大急ぎでポスター会場に移動。ACC は非常に規模の大きな会で会場内の移動も一苦労です。今回 “Radial, Circumferential and Longitudinal Strain in Subendocardial and Subepicardial Layers in Patients with Aortic Stenosis and Preserved Left Ventricular Ejection Fraction” という演題を発表して参りました。心収縮能が保たれた重症大動脈弁狭窄症症例において、左室心筋を内膜側と外膜側に分割して 2D speckle tracking 法という特殊なエコー技法で解析を行い、長軸方向全層及び内膜側の重心方向の収縮が低下していることを報告したものです。多くの方から質問もいただき、英語力のない私はしどろもどろの状態の返答となりました。毎回、国際学会に参加するたびに次回こそ英語を！と思うのですが達成されたことはありません。ドイツの大学の先生から「これはいい発表だから早く出版しなさい」というお言葉を頂戴しました。

夕方には学会会場を後にして、私の以前の勤務病院の同僚である先生方と夕食をご一緒させていただきました。さすがはアメリカで、私が一番小さいステーキで 400g。友人の先生は約 700g！のステーキを見るだけでお腹が一杯になるものでした。大味な食事の多いアメリカの中でニューオリンズは比較的食事が良いとの評判です。名物のガンボやジャンバラヤ、看護師さんに勧められていたベニエというデザートなどはまずまずの味でした。翌日は午前 6 時発の飛行機でしたので、午前 4 時にホテルをチェックアウトというフロントの方に白い目で見られての帰国となりました。

結局、学会参加はこの 1 日のみでしたが、やはり ACC という世界規模の学会に参加することで、日々の多忙な臨床を理由におざなりになりがちな臨床研究に対する意欲を新たにすることができました。高知からでも世界に情報を発信できるという気概を持って、これからも研究を続けていきたいと思えます。最後になりましたが、年度初めの忙しい時期に海外出張を許可してくださった山本克人先生をはじめ、循環器内科の先生方にこの場をお借りしてお礼申し上げます。





## 医療法人薫風会 毛山病院

〒780-0806 高知市知寄町1丁目2-2  
 TEL : 088 (883) 0515 FAX : 088 (884) 5323  
 URL : <http://www2.ocn.ne.jp/~keyama/index.html>

(診療科)

内科、消化器内科、外科、消化器外科、肛門外科、  
 美容外科、形成外科、皮膚科

(休診日：土曜午後・日・祝日)

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30~12:30	●	●	●	●	●	●	×
14:00~17:30	●	●	●	●	●	×	×

医療法人薫風会毛山病院は昭和39年3月2日に高知市知寄町に開院しました。病床数は一般病床45床です。毛山病院は形成外科・美容外科の専門病院であり、他に内科、外科、肛門科などを併設し、2008年には最新式内視鏡カメラを導入し、医療の充実を図っています。

(毛：毛山病院、高：高知医療センター)

高：まず、貴院の特徴をお聞かせください。

毛：当院は形成外科、美容外科の専門病院です。形成外科は「日本形成外科学会」の認定病院であり、美容外科は「日本美容医療協会」の認定施設です。美容外科・形成外科のどのような治療も安心して受けていただく事ができます。

高：貴院の形成外科について詳しくお聞かせください。

毛：形成外科専門医による、先天異常（口唇裂、口蓋裂、小耳症、埋没耳、副耳）など頭から顔の種々の先天異常、手・足の異常（多指趾症、合指趾症など四肢軀幹（クカン））の種々の異常の治療をしています。また、外傷・交通事故などの創傷治療にも力を入れ、できるだけ傷あとが目立たないようにきれいに治療しています。

高：美容外科についてはいかがですか？

毛：当院の美容外科は美容形成全般において治療を行っています。二重まぶた、隆鼻術、小鼻の修正、シワ取り術、ホクロの手術、光若返り治療で話題になっているスキンフォト治療や新陳代謝を活性化させ、肌のサイクルも正常に戻すケミ



カルピーリング、その他、レーザー脱毛などを行なっています。美容外科は予約制で治療は自由診療となっていますので、治療費についてはお電話でお問い合わせください。また治療方法につきましても安心してご相談ください。

高：他医療機関などとの連携についてはいかがですか？

毛：高知市内の皮膚科医より紹介される皮膚良性腫瘍や皮膚がん、ホクロやアザなどの手術を積極的に行なっています。また、歯科医からの紹介により顎顔面の骨切り術も行なっています。

高：今後、貴院が目指されていくことなどをお聞かせください。

毛：地域の中核病院との連携を密にして、小回りのきく医療を提供していきたいと思っています。

ご多忙の中、取材にご協力いただきありがとうございます。



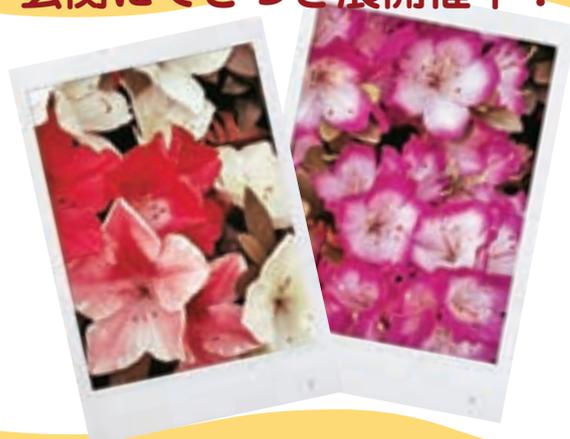
毛山章院長（右）と吉田隆一郎副院長（左）

## 今年も高知医療センター玄関にてさつき展開催中！

NEWS  
Vol.22

病院ボランティアグループ「ハーモニーこうち」の活動のひとつ、毎年恒例となっている「さつき展」が今年も高知医療センター正面玄関と正面玄関風除室にて開催されています。ボランティアメンバーの梅田さんが丹精込めて育てた「さつき」の数々。とても立派なさつきが並んで花を咲かせている様は壮観です。6月中旬くらいまでお楽しみいただけます。

是非、癒されにみてください。



日		曜		高知医療センターイベント情報～6月～			
1	水	<b>第14回高知医療センター外科グループ症例手術検討会</b>					
		場所	高知医療センター2F くろしおホール	時間	19:00～20:30	対象	医療従事者
お問い合わせ：高知医療センター 地域医療連携室							
5	日	<b>歯っぴいスマイルフェア2011～歯からはじまる健康づくり</b>					
		内容	みてみよう、やってみようコーナー、ステージイベント、ぬり絵コーナー、歯科相談コーナー、フッ化物で虫歯予防(展示)、お口のヘルスチェックコーナー(体験)、最長発生持続時間(MPT)測定コーナー、歯周病チェックコーナー、しらべてみよう噛む力、血糖値測定&糖尿病相談、口の健康は禁煙から!				
		場所	イオンモール高知専門店街イオンホール	時間	10:00～16:00	対象	一般
主催：(社)高知市歯科医師会 共催：高知市・高知県歯科衛生士会、高知県歯科技工士会、高知学園短期大学 医療衛生学科、高知リハビリテーション学院言語療法学科、高知医療センター							
12	日	<b>高知医療センターがんセミナー～みんなが知りたいがんのこと～</b>					
		内容	胃がんの診断と治療～内視鏡的治療を中心に～(第3回/全12回)	講師	高知医療センター 腹部疾患診療部長 森田 雅範 氏		
		場所	高新文化教室(RKC高知放送南館4F)	時間	10:30～12:00	対象	一般
主催：高知新聞社、高知医療センター 共催：アフラック高知支社 主管：高知新聞企業 お問い合わせ&お申込み：高新文化教室 電話：088(825)4322(日曜・祝日を除く 9:30～19:00) 参加費：受講料9,600円(12回分)※1回受講の場合は1,500円)							
13	月	<b>平成23年度第1回救命救急センターセミナー</b>					
		内容	小児臓器提供対応～新臓器提供施設マニュアルに基づいて～	講師	総合病院 聖隷三方原病院 救命救急センター 院長補佐 岡田 真人 氏		
		場所	高知医療センター2F くろしおホール	時間	18:00～19:00	対象	医療従事者 消防・警察関係者
26	日	<b>院内コンサート～こうちのたから音楽祭コミュニティコンサート</b>					
		出演	井上さとし：オリジナルフォーク弾き語り 高知カリビアンガールズ：スティールパンバンド Petits Foure(プティ・フル)：2人のブギウギピアノユニット(仮) ※出演者が変更する場合がございます。ご了承ください。				
		場所	高知医療センター1F ふれあいロビー	時間	15:00～16:00	対象	一般
主催：高知県民文化ホール、高知医療センター 協力：こうちのたから音楽祭実行会 お問い合わせ：高知医療センター まごころ窓口 電話：088(837)6777							
2	土	<b>第18回(平成23年度第1回)高知医療センター地域がん診療拠点病院公開講座</b>					
		内容	脳腫瘍の治療	講師	高知医療センター 脳神経外科 医長 岡田 憲二 氏		
		内容	婦人科がんについて		高知医療センター 婦人科 科長 木口 宏美 氏		
		内容	肝癌の治療と予防		高知医療センター 消化器内科 医長 宇賀 公宣 氏		
		場所	高知はたJ A会館4F大ホール	時間	14:00～16:30	対象	医療従事者、一般
お問い合わせ：高知医療センター 事務局医事課 主催：高知医療センター							
7	木	<b>第10回高知医療センター地域医療(内科系)症例報告会</b>					
		場所	高知医療センター2F くろしおホール	時間	19:00～	対象	医療従事者
お問い合わせ：高知医療センター 地域医療連携室 電話：088(837)6700							

※時間等、変更になる場合もございますのでご了承ください。背景に色がついている講座は是非、地域の医療機関の皆さまにご参加いただきたいものとなっております。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

## 編集後記

今年は就職という一大イベントのある春となりました。興味のあることにはすぐ飛びついてチャレンジしたい方ではあるのですが、春という季節と慣れない環境は大の苦手です。私はいつも周りの人に恵まれるという幸運の持ち主で、苦手な春も無事に乗り切り、新人職員として毎日新しい発見や出会いがあり、学びの多い毎日を送っています。と言っても新人と言うには恥ずかしい年齢になってしまっているのですが……。加齢に負けることなくスポンジのように新しいことをどんどん吸収するとともに、これまでの経験を少しでも活かすことができればなあと思っています。「まごころ」の名前に負けないように、笑顔を忘れず患者さんやご家族の方に安心していただけるようなソーシャルワーカーを目指して日々努力したいと思っておりますのでよろしくお願いたします。(まごころ窓口MSW 中山)



平成23年6月1日発行  
にじ 6月号(第68号)  
責任者：堀見 忠司  
編集人：地域医療連携広報委員  
特別編集委員  
発行元：地域医療センター  
地域医療連携本部  
印刷：共和印刷株式会社

高知医療センター  
〒781-8555 高知県高知市池2125-1  
TEL：088(837)3000(代)